



7月10日に阿久比町は「歩行者優先」のまちを宣言しました!

7月10日に開催した阿久比町「社会を明るくする運動・安全安心町民・青少年健全育成推進」大会で、阿久比町は「歩行者優先」のまちを宣言しました。今後、町内の高齢者や児童・生徒など「歩行者」の皆さんを交通事故から守ることを目的に、さまざまな場面で「歩行者優先」を啓発します。



(写真左)
宣言後、拍手する参加者の皆さん。

(写真右)
大会後、「歩行者優先宣言のまち」などが書かれたのぼり旗を持って阿久比駅までのパレードが行われました。

本町では、高齢者の増加に加え、近年の転入世帯の増加により、子どもも増え、通学路の安全確保が急務となっています。高齢者や児童・生徒などの交通弱者である歩行者を交通事故から守ることは、社会の使命であると捉えています。

このような状況の中、本町では、「阿久比町交通安全条例」に車両使用者と比較して、弱い立場である歩行者や、交通事故に遭いやすい高齢者、子どもへの一層の安全を図ることを、本町の基本理念として明文化しました。

「歩行者優先」は、マナーではなくルールです。この「歩行者優先」の原則を徹底し、阿久比町から交通事故による犠牲者を出さないために、「歩行者優先」のまちを宣言します。

宣 言

私たちは、交通事故のない安全で安心なまちをつくるため、一般道路や歩道、横断歩道において、「歩行者優先」の原則を徹底します。

自動車および自転車等を運転するときは、高齢者や児童・生徒などの歩行者が、安全に道路を通行できるよう配慮します。

ここに、町民、事業所、行政が一丸となって、交通事故のない阿久比町を目指し、「歩行者優先」のまちを宣言する。

阿久比町交通安全推進協議会会長
阿久比町長 竹内 啓二

